

中学生の皆さんへ

校長 田原俊典

学校休業延長について（放送）

生徒の皆さん、おはようございます。校長の田原です。

学校休業という長い期間の自粛生活により、生徒の皆さんは様々なストレスと不安で疲弊していることと思います。

2年生、3年生の皆さんは、新年度を迎え、心機一転の矢先の自粛で様々なことに不安を感じていると察しています。特に1年生の皆さんは、中学生としての新しい生活が始まるという大きな節目で学校生活が送れないという過酷な自粛を強いられています。

学校行事など多くの予定が変更され、長い学校休業を強いられ、正体の解明されていない敵と闘うという点では、まさに今は危機だと思えます。

しかし、修道は過去にいくつかの存亡の危機を乗り越えてきた歴史を持っています。大丈夫です。生徒の皆さんと私たち教職員が信頼関係を維持して、この危機に立ち向かっていきたいと思えます。

以前の学校休業に入る際の全校放送で、私は皆さんに「正しく真摯に新型コロナウイルスを恐れること」を伝えました。

なぜなら様々な情報を探る中で、今回のウイルス感染はそう簡単には終息しない、闘いはかなりの長期戦になると私が思ったからです。

今回、広島県や広島市の対応に鑑み、学校休業を5月末まで延長しました。もちろん終息の兆しがあれば、この予定はさらに変更されることも考えられます。

今までの学校休業では、先生方個人の献身的な努力によって、オンライン授業や動画配信などにより、可能な範囲で教科指導や面談が実施されてきました。先生方のオンラインによる現在の個々の配信は広島県でもトップクラスのリテラシーだと自負しています。

しかし、この先進的な取り組みを全ての教員が、全ての生徒に対して平等に体系的に実施するには、まだ準備の時間が必要であり、また解決すべきいくつかの課題も残っています。

そこで、今後の長期戦に備えて、登校できなくても、生徒の皆さん全員と学校とがコミュニケーションをとり、双方向の教科指導がオンラインでできるようにしておくことは、早急に取り組まなくてはならないことであると考えました。

そのためには、まずは生徒のみなさんのネット環境の状況の把握や家庭での課題への取り組みにおける問題点など、実際に対面して確認する作業が必要だと考え、今回の登校日の設定をしたのです。

さらに、最も重要なことは、修道という学舎【学校という建物】での皆さんの学校生活です。もちろん、オンライン授業だけでは、修道の建学の精神を全うできないことは生徒の皆さんは十分理解していると思えます。

皆さんが今回の学校休業により失った「学舎での学校生活」は、夏季休業日を通常の授業日とすることで補填する予定です。

今回の登校日の設定は、今後のコロナウイルスとの闘いの長期化を見据えて、本当の意味で修道の教育活動を、「登校できない日々のオンライン教育」と「分散登校などによるウイルス感染防止対策をしてうえでの学校生活の実現」との両立によって実現するための準備だと考えてください。

生徒の皆さんにはくれぐれも登校による感染がないように、学年の先生方の注意を守り、密をさけ、登校時のマスク着用をはじめとして、手洗い、うがいなど感染防止のためにやるべきことは、必ず確実に実践してほしいと思います。

最後に今後のコロナウイルスとの長期戦において、修道の教育活動を維持していくための重要なポイントをもう一度繰り返します。それは、生徒の皆さんの「学舎での学校生活の確保」と「オンライン教育による家庭学習の充実」との両立です。生徒の皆さんもその点を理解して、自分のやるべきことに一生懸命取り組んでほしいと思います。

以上で全校放送を終わります。

この後はそれぞれの先生方の指示に従ってください。